

世田谷区特別支援教育推進計画（第2期）素案について

（付議の要旨）

「世田谷区特別支援教育推進計画（第2期：平成30年度～平成33年度）」の素案をとりまとめたので、報告する。

1 主旨

特別支援教育を取り巻く環境の変化等を踏まえ、平成30年度から平成33年度までの4年間にわたる、区立小・中学校・幼稚園における具体的な事業活動について規定した「世田谷区特別支援教育推進計画（第2期）」の素案をとりまとめたので、報告する。

計画の策定にあたっては、次期新実施計画や第2次教育ビジョン・第2期行動計画などの諸計画との整合性を図る。また、「世田谷区教育総合センター」の開設を見すえ、教員の専門性向上や人的支援の充実などのさらなる検討を行い、特別支援教育を推進していく。

2 策定の背景と経緯

教育委員会では、平成26年3月に、第2次教育ビジョンを策定し、「ニーズに応じた特別支援教育の充実」を重点事業に位置づけた。

また、平成27年3月には、「世田谷区における特別支援教育の今後の推進のあり方」を策定し、今後10年を見すえた、特別支援教育に係る基本的な「考え方」や「取り組みの方向」をまとめた。

さらに、平成28年4月には、具体的な行動計画である「世田谷区特別支援教育推進計画（第1期）」（以下「第1期計画」という。）を策定した。

第1期計画においては、通常の学級における人的支援の充実や全区立小学校に特別支援教室を設置するなど、積極的に事業活動を推進し、大きな成果も得られているところであるが、配慮を要する児童・生徒の増加等に伴い、人的支援のさらなる充実や連続性のある支援の場の整備など、様々な課題への対応が求められている。

3 計画素案の内容

別紙1及び別紙2のとおり

別紙1 世田谷区特別支援教育推進計画（第2期）素案【概要版】

別紙2 世田谷区特別支援教育推進計画（第2期）素案【本文】

4 計画の検討体制

区立小・中学校校長会及び特別支援学級設置校長会代表等による検討委員会を設置し、素案のとりまとめまでに3回実施した。今後、検討委員会を継続するとともに、学識経験者からの意見聴取も行う。

なお、区民からの意見については、平成29年9月に実施する予定の「第2次教育ビジョン・第2期行動計画」のパブリックコメントの内容を反映していく。

5 今後の予定

平成29年8月21日	教育委員会(素案)
9月5日	文教常任委員会(素案)
平成30年1月中旬	政策会議(案)
1月下旬	教育委員会(案)
2月上旬	文教常任委員会(案)
3月下旬	教育委員会決定